

平成30年9月10日

保護者各位

鳥栖市立鳥栖北小学校
校長 一木 徹也

平成30年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 平成30年度全国学力・学習状況調査について

平成30年4月17日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語A・算数A、国語B、算数B、理科）
調査A：主として「知識」に関する問題 調査B：主として「活用」に関する問題 ※理科については、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問う。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

2 教科に関する調査結果から全国平均と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

①国語A（基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題）

- ・国語Aの平均正答率は、4つの観点の「話す・聞く力」「書く力」「読む力」「言語についての知識・理解・技能」とも全国平均を上回っていました。
- ・「読む力」では、「目的に応じて必要な情報を捉える」ことは、大きく全国平均を上回っていましたが、「登場人物の心情について、情景描写を基に捉える」ことが、やや下回っていました。
- ・「言語についての知識・理解・技能」では、「相手や場面に応じて適切に敬語を使う」ことは全国平均を大きく上回っていました。
- ・「文の中の漢字を使う」では、「せい（製）造」「せつ（設）備」が全国平均を下回り、「せつ（積）極的」は大きく上回っていました。また、全問について無解答率が全国平均を上回っており、課題が見られました。

②国語B（基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題）

- ・国語B全体の平均正答率は、全国平均を大きく上回っていました。中でも、「読む力」は、大きく上回っていました。

(2) 算数について

①算数A（基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題）

- ・算数A全体の平均正答率は、全国平均を上回り、領域で見ると、「数と計算」「図形」が良い結果となっていました。
- ・領域「量と測定」の「単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解しているか」の問題「16人で8m²のシートに座るときと、9人で5m²のシートに座るときの混

み具合」では、正答率が全国平均を大きく下回りました。

- ・領域「数量関係」の「0.4 mの重さが60 gの針金があります。1 mの重さを求める式はどれでしょう」の問題や「200人のうち80人は何%ですか」の問題でも正答率が下回り、課題が見られました。

②算数B（基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題）

- ・算数B全体の平均正答率は、全国平均を上回っています。
- ・領域で見ると「量と測定」「図形」で正答率が大きく上回っていました。
- ・領域「数と計算」の問題「4色を順に繰り返してつなげ、輪飾り1本を作ったときの、30個目の折り紙の輪の色を選ぶ」の正答率が大きく下回っていました。
- ・他の問題でも正答率が下回っている問題が3問あり、課題が見られました。

(3)理科について

- ・理科全体の平均正答率は、全国平均を上回っていました。
- ・区分で見ると「物質」「エネルギー」の正答率は大きく上回っていました。
- ・区分「生命」の正答率は下回り、課題が見られました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

- ・基本的な生活習慣「早寝・早起き」については、全国と比べてやや低い割合となっておりますが、「朝食」については、大きく上回っていました。
- ・家庭学習については、全国と比べて、宿題をきちんとしている割合は上回り、自学学習は「教科書を使いながら学習をしている」割合が大きく上回っていました。しかしながら、「計画的に」と「予習・復習」をしている割合が下回っており、課題が見られました。
- ・家庭学習の時間や読書時間については、全国と比べて長い時間している児童は少ないですが、時間が短い児童の割合は下回っていました。
- ・算数の学習については、「好きですか」「よくわかりますか」などの質問に対して「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた割合は、全国と比べて上回っていました。
- ・理科の学習については、授業で「実験や観察」を行った割合は、全国と比べて大きく上回っていましたが、「好きですか」「よくわかりますか」などの質問に対して「当てはまる」の割合は全国と比べて大きく下回っていました。しかしながら、理科の平均正答率は、全国を上回っていることから、興味や関心を高める指導に課題があると考えられます。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・児童の実態に応じて、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っていきます。
- ・電子黒板やデジタル教科書などICT機器の活用でより分かりやすい授業を目指します。
- ・自分の考えや意見、分かったことを自分の言葉（文章）で記述する活動や発表する活動を各教科の授業に取り入れていきます。
- ・児童が少人数や学級全体で学び合う活動に取り組みせ、児童同士の関わりを大切にして、互いを認め合う場面を多く設定します。

5 ご家庭でお願いしたいこと

- 1 「とすっ子家庭学習の手引き」をもとに学習する時間帯を決めましょう。
- 2 「生活リズムアップ大作戦」を続けて、早寝・早起き・朝ご飯などの基本的な生活習慣を定着させましょう。
- 3 頑張っていることや良くできたことをほめて、自尊心を高めましょう。

